

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6(5)	玄関の施錠は身体拘束になるので、開錠している時間や場を増やす取り組みを検討してはいかがか。	利用者様が自分で好きなときに外に出られるようなグループホームを目指す。	職員が3人体制の時にははたけの草むしりや水くれなどの仕事や近所の散策の散歩というような目的を決めて開錠を行う。	6ヶ月
2	40(15)	飲み物は職員が決めるのではなく、利用者を選んで決められるよう、週1回でもよいので、メニューを作る等工夫をし選択の場面を設けてはいかがか。	利用者様本意で有る事を考え利用者様に楽しんでいただく。	起床時のお茶や3時のおやつの際色々な飲み物のパックをお盆に載せて、利用者様に選んでいただく。	6ヶ月
3	54(20)	居室はその人らしさや生活感のある空間となるよう、家族と話し合い、協力も得て、居室作りに取り組んではいかがか。	グループホーム本来の自宅で過ごして頂いているような空間を作る。	趣味趣向のお持ちの利用者様にはいつでも出来る様テーブルの上に置くなどいつでもたずさわられるように工夫をする。又面会に来て下さった方との一緒に写真を飾り寂しくならないように配慮する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。